

国際力動的心理療法研究会

International Association of Dynamic Psychotherapy

第19回年次大会

大会テーマ

「大震災の衝撃—心に潜む力」

Impacts of Great East Japan Earthquake and Tsunami: Hidden Power of our Minds

大会会長挨拶

東日本大震災から2年がたちました。その衝撃はいまなお大きく、個別性をもって見える形、見えない形でなお続いています。特に、福島は、原発の問題を抱え、物理的安全の確保すら不安定な環境の中で、不安、緊張の中に晒され、生きている現状があります。震災以降の2次、3次、4次と累積される心の傷は、見えない不安とも重なり、ストレスを増大させ、心身の力を奪い、多くの悪影響を引き起こします。慢性疲労、睡眠の乱れ、ストレスによる体調不良にはじまり、うつ蔓延、成人病の増加、子どもたちの癌不安、普段ならありえない不注意の事故、虐待や暴力、そして痛ましい自殺の問題までさまざまです。

IADPは、これまでの2年間、宮城県仙台市に設立した震災復興心理・教育臨床センター（EJセンター）と共同で、精神分析、力動的心理療法の立場から、震災支援に当たってきました。個人や社会によって隠され見えにくくなる心の傷、PTSDの予防と治療活動です。しかし、その必要性を求める声は、いまだ十分には届いていません。自分の痛みを見ないようにする個人の回避が、社会の回避と重なりPTSDは遷延しています。そこで、前回の仙台大会に続き、IADPは、今なお危機感の高い福島で、傷、ストレスに向き合い、語り、荷重ストレスによって沈む心の力を解放する取り組みを、福島の中心都市のひとつ、郡山市で行うことを決定しました。

米国9.11テロ後の青年のPTSD治療対策リーダーであったセス・アロンソン（Seth Aronson）先生、戦争PTSDや子どもの外傷治療の権威であるラルフ・モーラ（Ralph Mora）先生、日本の精神医療を牽引してこられた牛島定信先生や、吉松和哉先生をはじめ、日本国内外から第一線の専門家が駆けつけ、うつやPTSDに関連した専門家向けの充実した訓練プログラムを組むことができました。また、今これからの福島での地域のリーダーシップを期待される、行政や、企業の方々などを対象とした震災支援心理教育ワークショップ「アゴラ」を開催します。東北の、福島の歴史を背負い、地域を生きるこれからの子どもたちが、心を逞しくすることに希望を持てるよう、まず、大人が自分と向き合い、心に潜む元気感覚を取り戻す試みをはじめましょう。この難局に挑み、さらなる力を発揮したい方のご参加をお待ちしております。

大会会長 橋本和典 Ph.D, CGP

(PAS 心理教育研究所クリニカルディレクター／震災復興心理・教育臨床センター講師)

第19回年次大会概要

<日程> 2013年7月12日(金) - 7月14日(日)

<会場> 郡山市民交流プラザ(ビッグアイ7階)

〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 (JR東北新幹線 郡山駅西口徒歩1分)

<大会会長> 橋本 和典 (PAS心理教育研究所クリニカルディレクター/震災復興心理・教育臨床センター講師/IADP事務局長)

<大会副会長> セス・アロンソン Psy.D., CGP, FAGPA

(ウィリアム・アランソン・ホワイト研究所 ファカルティ; トレーニング・スーパーバイジング・アナリスト)

<主催> 国際力動的心理療法研究会 <共催> 震災復興心理・教育臨床センター

大会プログラム

1日目:7月12日(金):IADP会員・専門家向けプログラム

13:00-13:15 開会式

13:30-15:30 大会基調ワークショップ「PTSDへの心理力動的アプローチの最前線」

リーダー:ラルフ・モーラ(アメリカ海兵隊岩国航空基地 岩国診療所(BHC)心理士)

16:00-17:30 スーパーヴィジョン・セッション

スーパーヴァイザー:

- ・セス・アロンソン(ウィリアム・アランソン・ホワイト研究所 ファカルティ)
- ・ラルフ・モーラ(アメリカ海兵隊岩国航空基地 岩国診療所(BHC)心理士)
- ・西川昌弘(PAS心理教育研究所 副所長)
- ・橋本和典(第19回IADP年次大会 大会会長)

18:30-20:30 全体ケースセミナー

コンダクター:小谷 英文(IADP理事長・設立者/IAGP Trauma / Disaster Task force 日本代表)

スーパーヴァイザー:小谷 英文・参加者全員

2日目:7月13日(土):アゴラ:震災後の心に潜む力の発見と地域復興

10:30-12:30 オープニング講演とワークショップ

「底力の可能性 Power from the ground state」:演武と大集団グループ

人の底力は目に見える。剣豪の力を借りて互いの底力を見てみよう。

剣道演武:小池 總明(剣道教士・仙台泉区剣道連盟副会長)

リード:小谷 英文(IADP理事長・設立者/IAGP Trauma / Disaster Task force 日本代表)

12:30-13:30 昼食・個別相談(個別相談ブースにてご希望される方の相談をお受けします。)

国際力動的心理療法研究会 第19回年次大会

第1報通信

13:30-16:30 ワークショップ (IADP 会員・専門家と市民それぞれ分かれて行います)

専門家向けワークショップ：心理療法の知識・態度・技術を磨く訓練ワークショップ

市民向けワークショップ：心を動かし、自分らしさに触れ、震災の重荷を下ろし、心に潜む力を取り戻すためのワークショップ

16:45-17:30 大グループ：参加者全員参加のグループで一日の体験を言葉にし、味わいます。

18:30-21:00 懇親会 (参加費：6000円)

IADP 会員・専門家向けトレーニングワークショップ

- 心的外傷を受けた思春期青年に対する心理療法の挑戦
セス・アロンソン (ウィリアム・アランソン・ホワイト研究所 ファカルティ)
- 心的外傷を受けた子どもへの心理療法
ラルフ・モーラ (アメリカ海兵隊岩国航空基地 岩国診療所(BHC)心理士)
- 応答構成入門
能 幸夫 (湘南病院相談室 室長/PAS 心理教育研究所 所長)
- うつの力動的心理療法
牛島定信 (三田精神療法研究所 所長)
- 精神科病院における臨床経験から一集団精神療法場面における沈黙と攻撃性の扱いについて
吉松和哉 (式場病院 特別診療顧問)

※ワークショップ概要は、近日中に学会ホームページに掲載いたします。

3日目：7月14日(日)

10:30-12:00 教育講演 「うつの的確な診断と治療的対応」

講演：牛島 定信 (三田精神療法研究所 所長)

12:30-14:00 ランチタイム・理事会／総会

14:00-16:30 市民公開シンポジウム 「震災 PTSD と心に潜む力ー今とこれから」

発話者：宮城より 足立 智明 (宮城学院女子大学 教授)

福島より 橋本 和典 (第19回 IADP 年次大会 大会会長)

コメンテーター：牛島 定信 (三田精神療法研究所) / 吉松 和哉 (式場病院)

ラルフ・モーラ (アメリカ海兵隊岩国航空基地 岩国診療所(BHC))

司会：セス・アロンソン (ウィリアム・アランソン・ホワイト研究所)

橋本 麻耶 (PAS 心理教育研究所)

16:30-17:00 振り返りと閉会式

※各プログラムの概要については学会ホームページにて随時お知らせいたします。

申込み方法

大会参加手続き

5月1日(水)から受付を開始いたします。ホームページより申込書をダウンロードし、郵送またはFAXで大会事務局(下記参照)までお申込みください。

ホームページ：<http://www.iadp.info/>

参加申込み締切り：6月30日(日)

参加費

非会員：21,000円

会員・学生：18,000円

懇親会費：6,000円

※IADP会員の方は年会費(1,000円)をお支払いください。

早期割引について

5月31日(金)までにお申込みいただくと、参加費が3,000円割引となります。

スーパーヴィジョン・セッション 事例発表募集

1日目のスーパーヴィジョン・セッションの事例を募集いたします。ご希望の方は、申込用紙の発表希望欄にチェックし、5月23日(木)までに大会事務局まで郵送またはFAXでお申込み下さい。後日、詳細について事務局よりご連絡いたします。

宿泊に関して

事務局では、郡山ワシントンホテル(<http://washington-hotels.jp/koriyama/>)を50部屋確保しています。学会会場から徒歩5分と便利な立地となっていますので、ぜひご利用下さい(1泊5500円～6000円)。部屋数が限られていますのでお早めにお申し込み下さい。

ご希望の方は申込用紙のホテル希望欄にチェックをつけて下さい。

大会事務局

第19回IADP年次大会事務局長 石川 与志也

大会事務局：〒153-0041 東京都目黒区駒場2-8-9 PAS心理教育研究所内

Tel & Fax: 03-6407-8201

学会ホームページ：<http://www.iadp.info/> メールアドレス：iadp@iadp.info